

小学校での環境教育

筑波大学附属小学校
教諭 勝田 映子

1 環境教育の歩み

1960年代 公害防止対策 = 公害教育

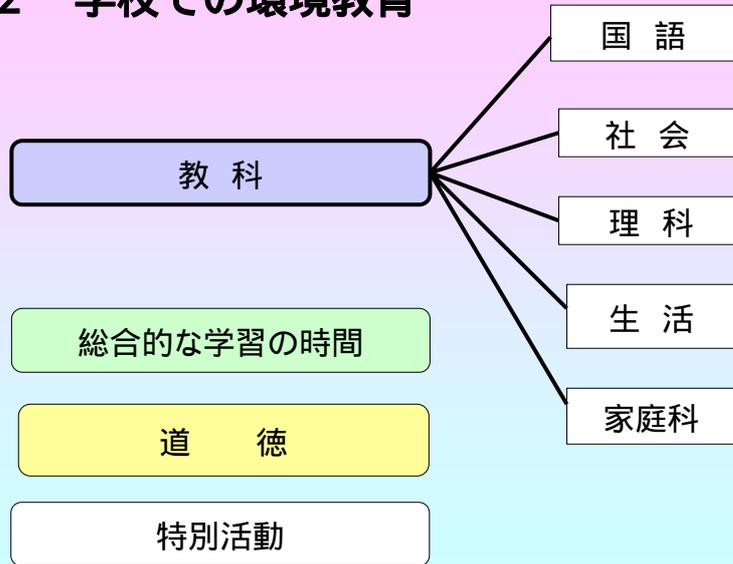
1975年 全国小・中学校公害対策研究会 環境教育研究会

1980年代前半 都市生活型公害中心

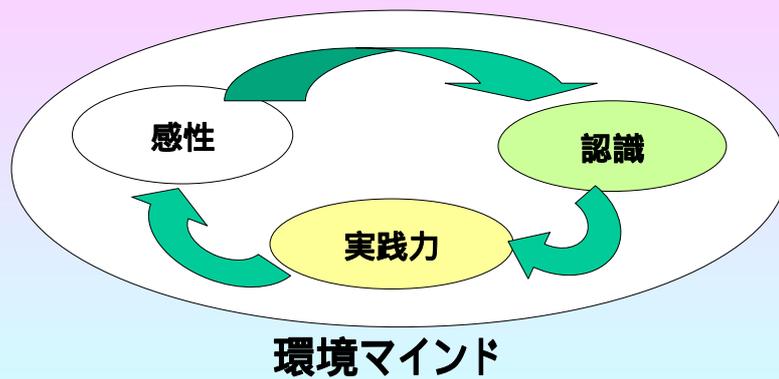
1980年代後半～ 地球規模の環境問題を中心

1997年～ 環境と持続可能性のための環境教育

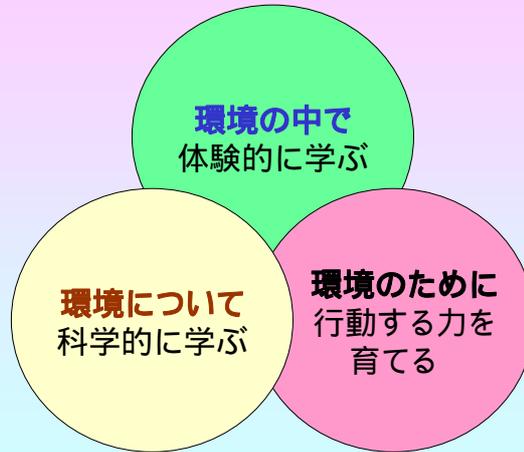
2 学校での環境教育



3 環境教育の目標



4 環境教育の三つ柱



5 環境教育の実際

(1) 教科

社会とのかかわり

生活科

自然とのかかわり

身近な自然とのふれあい

季節の変化と生活のかかわり

自分自身とのかかわり



社会科

児童の生活から環境をみつめる
公民的な資質を養う



3年 「地域の消費生活」

4年 「地域の生活と水、電気、ガス、ごみ」

5年 国土 産業 環境保全の大切さ

6年 政治のはたらき 国際社会の中の日本

理科

自然に対する興味関心
問題解決能力
科学的な見方、考え方



中学年

身近な動植物とのかかわり



環境に対する見方
考え方

高学年

植物の発芽から結実
動物の発生や成長



生命尊重
生命の連続性

人、動物の体のつくりとはたらき
生物と環境とのかかわり



エコシステム

家庭科

環境に配慮した家庭生活できるようにする

5年 不用品やごみの適切な処理

物や金銭の計画的な使い方 買い物

6年 自然環境に応じた住まい方

近隣の生活と環境

5年 家庭科「やってみよう！ゴミなし作戦」



どれを
買おうかな



ゴミが
たくさん
出ちゃった



レジ袋に
入れるよ

5年家庭科 「気持ちの良い環境をつくろう」

ゴミの分別の仕方を
学ぶ



地域にもよびかける



ちゃんと
分別しよう



6年家庭科 だれもが住みよい町をつくろう

牛乳パックで作った我が家



もちろん ごみすて場もあります



町ができて
...



道徳

自然や動植物の愛護

生命を尊重する心

国や郷土を愛する心



特別活動

環境美化、環境整備、環境衛生のに関する実践活動



総合的な学習の時間での環境教育

- ・地域、学校の特徴を生かした環境教育
- ・環境をテーマに自ら課題を見付け、方法を工夫して考え、実行する学習

5年 総合「子ども環境会議を開こう」

町に出てインタビュー



調べたことを まとめる



発表討論会



出前授業で学ぶ



地域の人から学ぶ



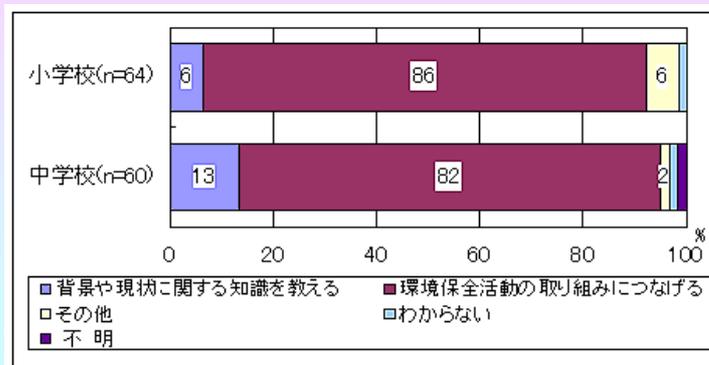
保護者と共に創る



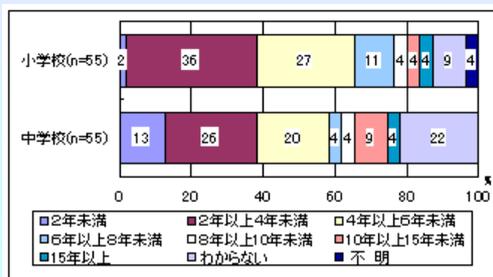
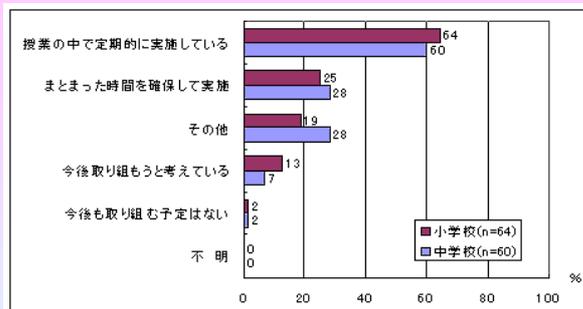
卒業制作の
ごみリサイクル
ボックス！

6 実践の状況

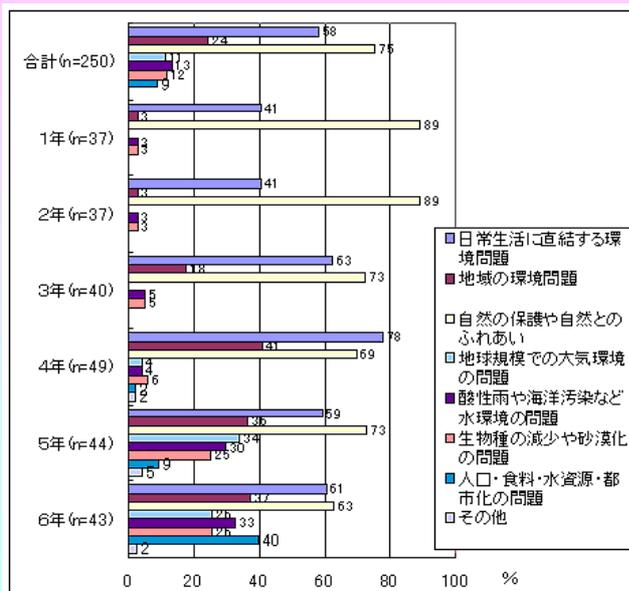
どんなことを教えているか



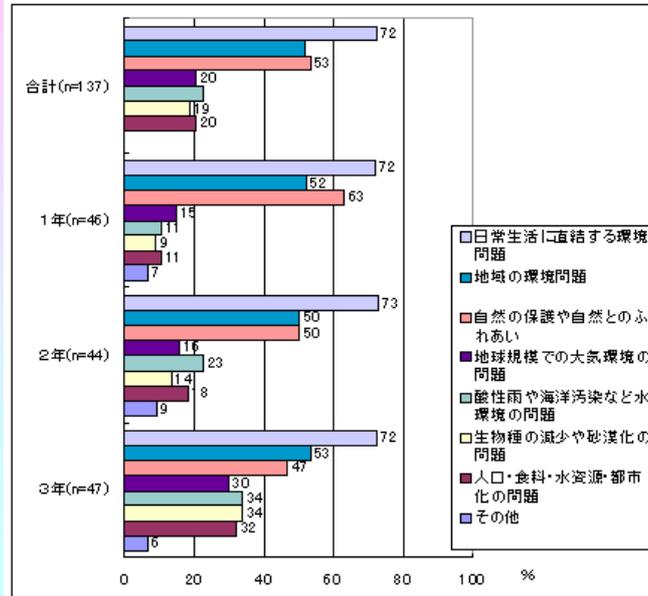
どのように行っているか



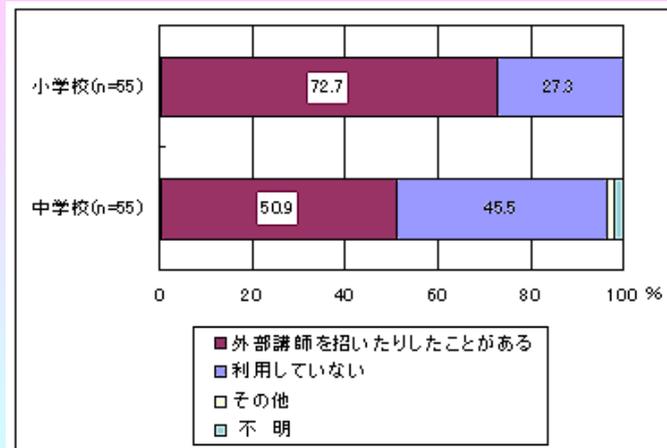
取り組んだテーマ(小学校)



取り組んだテーマ(中学校)

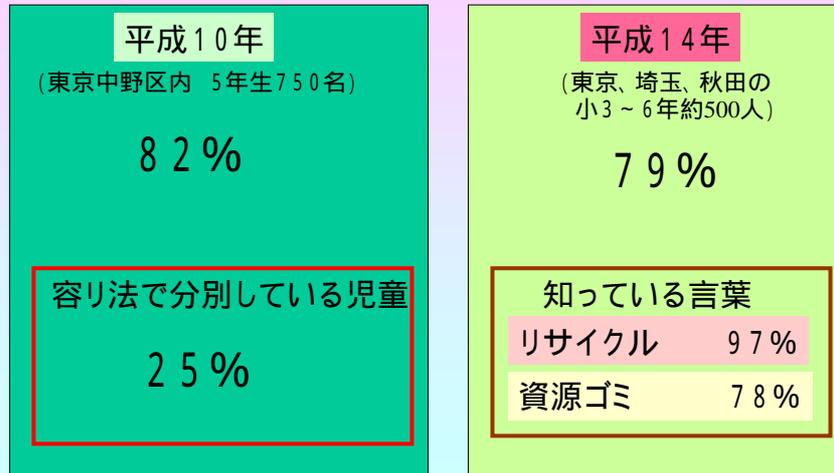


外部講師を招いたことがあるか

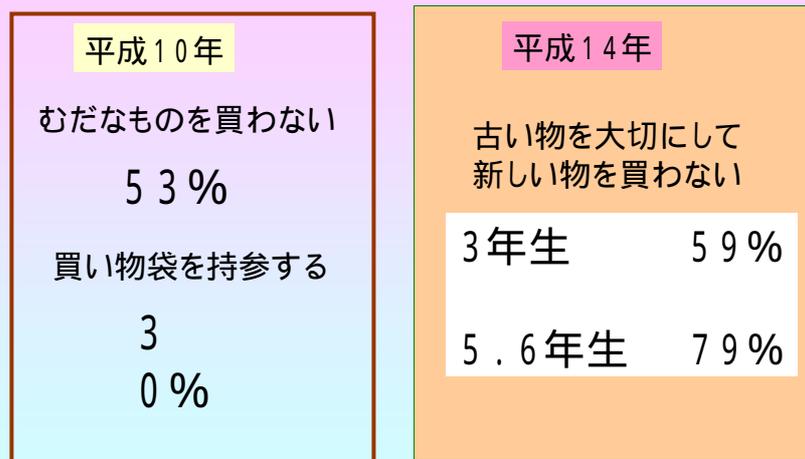


7 児童の実態

ごみを分別している小学生



ゴミを減らす方法は？



8 容器リサイクル法の前と後で何が変わったか

- 1 新学習指導要領と総合的な学習の時間の登場

↓
学習として定着

- 2 リサイクルへの積極的なかわり
- 3 識別マークの学習が さかんになる

↓
低学年 保護者 地域への広がり

- 4 リサイクル教育からリデュース教育へ

↓
世界的な視野への広がり

9 残された課題 - 子どもの疑問 -

なぜ×なの？

